

第306回

現地開催（会場：5階大講堂）

都立大塚病院 地域連携医科研修会

日時

令和7年7月10日（木）

19：30～20：10

演題：「手を携えて膵癌の早期発見を」

講師：消化器内科 医員 白崎 友彬

カリキュラムコード：0

※本研修会は、日医生涯教育講座の対象ですので、参加証（0.5単位）をお渡しいたします。

膵癌は発見時には進行したステージであることが多く、その3年生存率は5%に届きません。手術可能な段階で診断することができればその患者の生命予後が変わります。

膵癌早期診断に寄与する検査のひとつに超音波内視鏡があります。大塚病院消化器内科では超音波内視鏡を導入し、さらに音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）を行い、膵臓をはじめとした実質臓器の腫瘍、消化管壁内あるいは胸腔腹腔内の腫瘍の診断を行っています。

しかし大塚病院院内紹介だけでは、膵癌を早期診断できる患者数は足りません。近隣の医院様からのご紹介を受けながら数を増やしたいと考えています。

本講演では、膵癌早期診断における他自治体の膵癌早期発見の取り組みを紹介し、それを参考に我々の連携を密できたらと考えています。

また、膵癌早期診断のために、危険因子を持つ患者をどう検査していくかの提案や膵癌早期発見に関わる画像所見等をお話します。

本講演が我々の周囲から手術可能な段階の膵癌患者の診断数を増やすきっかけとなれば幸いです。

お申し込み方法

- 事前お申し込み制です。
- ご希望の方は下記内容を左下のGoogleフォームにご入力ください（参加無料）
①氏名 ②職種 ③所属施設名 ④所属医師会 ⑤電話番号 ⑥参加証の希望
- 申し込み締め切り日：令和7年7月3日（木）
- お申し込み締め切り後に、ot_renkei@tmhp.jp よりご連絡させていただきます。

【お問い合わせ先】大塚病院 患者・地域サポートセンター 地域連携支援グループ 藤田

電話 3941-3211 内線 2138

